

所沢市上下水道局料金業務包括委託
プロポーザル方式審査基準

令和7年4月

所沢市上下水道局

1 目的

この基準は、所沢市上下水道局料金業務包括委託の契約候補者を特定するため、所沢市上下水道局料金業務包括委託プロポーザル方式評価委員会（以下「委員会」という。）において、参加事業者から提示された業務提案の内容を、客観的に評価及び審査することを目的とする。

2 審査方法

- (1) 業務提案の内容について、各委員が「3 評価基準」に示す評価基準表に基づき以下の得点化表を用いて評価する。
- (2) 各委員の評価に基づき点数化し、その総得点（以下「評価点」という。）が70%以上の点数（以下「基準点」という。）を満たした参加事業者のうち、点数が一番高い参加事業者を第一契約候補者として、次点の参加事業者を第二契約候補者として選定する。
- (3) 評価点で同点の場合は、A評価の数が多い参加事業者を優先する。それでも同点の場合は、委員長の判断によって決定する。
- (4) 参加事業者が1者のみの場合も審査を実施し、基準点を満たしたものを契約候補者として選定する。
- (5) 全ての参加事業者が基準点を満たさない場合は、再度公募を行うものとする。

得点化表

評 価	評価の意味合い	得点化法
A	優秀である／高度の能力を有している	配点×1.0
B	満足できる／十分な能力を有している	配点×0.8
C	平均的である	配点×0.6
D	物足りなさを感じる／能力が若干乏しい	配点×0.4
E	満足できない	配点×0.2
F	評価の対象外	配点×0.0

3 評価基準

業務提案（業務提案書、プレゼンテーション及びヒアリング）については、下記の評価基準表の評価項目、配点により評価を行う。

評価基準表

(満点 200 点)

No.	評価項目	評価の着目点	配点
1	業務履行方法に関する事項	① 業務体制及び業務執行計画	10
		② 窓口業務に関する取り組み方	15
		③ 定例検針業務・調定業務・収納業務・下水道使用料単独請求業務に関する取り組み方	20
		④ 精算業務に関する取り組み方	5
		⑤ 受益者負担金催告業務・水洗便所改造資金貸付金の償還金業務・メーター交換の事務処理業務・使用者不在の漏水現地確認業務	5
		⑥ 滞納整理業務・給水停止業務に関する取り組み方	20
		⑦ 電子計算処理に関する取り組み方	20
		⑧ 事務引継業務に関する取り組み方	5
2	事業者に関する事項	⑨ 会社概要及び財務状況	10
		⑩ 労務・法務・個人情報保護に関する取り組み方	10
		⑪ 人材育成に関する取り組み方	20
		⑫ 災害、緊急時等危機管理に関する取り組み方	10
		⑬ 地域貢献に関する取り組み方	10
3	改善提案	⑭ 空き家に関する取り組み方	10
		⑮ 先進的な業務改善提案	10
		⑯ 環境への配慮	10
4	見積金額	⑰ 見積金額に係る評価	10

4 評価の詳細

(1) 評価のポイント

所沢市上下水道局料金業務包括委託業務水準書に記載された水準以上であり、業務の改善及び効率化、住民サービスの向上やコスト削減につながる有益な業務提案になっているか。

(2) 評価の内容

① 業務体制及び業務執行計画

ア 業務体制について、どのような体制で取り組むのか。組織及び人員配置を説明する体制図を記載すること。

イ 委託業務を適正に行うことができる能力を有する責任者・社員を配置できるか。

ウ 検針員及び業務従事者をどのように確保するのか。

エ 繁忙期はどのように対応するのか。

オ 緊急時はどのように対応するのか。

カ 苦情にはどのように対応するのか。

② 窓口業務に関する取り組み方

ア 適切な現金収納・管理を確保するため、どのような対策を講じるのか。

イ 口座振替・クレジットカード支払い（継続払い）登録の促進を図るため、どのような対策を講じるのか。

ウ 入力漏れ・入力誤りを防ぐため、どのような対策を講じるのか。

③ 定例検針業務・調定業務・収納業務・下水道使用料単独請求業務に関する取り組み方

ア 異常水量（水量の増減）、不明水量、漏水の調査について、どのように対応するのか。

イ 検針誤りを防ぐため、どのような対策を講じるのか。

ウ 推定検針を減らすため、どのような対策を講じるのか。

エ 重複納入を減らすため、どのような対策を講じるのか。

④ 精算業務に関する取り組み方

ア 未納を防ぐため、どのような対策を講じるのか。

⑤ 受益者負担金催告業務・水洗便所改造資金貸付金の償還金業務・メーター交換の事務処理業務・使用者不在の漏水現地確認業務

ア 受益者負担金催告業務について、収納を確保するため、どのような対策を講じるのか。

⑥ 滞納整理業務・給水停止業務に関する取り組み方

- ア 早期収納を図るため、滞納整理・給水停止業務について、どのように取り組むのか。
- イ 給水を停止できない場合は、どのような対策を講じるのか。
- ⑦ 電子計算処理に関する取り組み方
- ア 安定稼働・セキュリティ対策をどのように構築するのか。
- イ 保守・運用・管理体制をどのように構築するのか。
- ウ カスタマイズの柔軟性を有しているか。
- ⑧ 事務引継業務に関する取り組み方
- ア 業務委託が終了又は解除された場合、引継ぎはどのようにするのか。
- ⑨ 会社概要及び財務状況
- ア 資本金、業務内容、社歴、受注実績、直近 2 年度分の財務諸表（貸借対照表及び損益計算書等）に基づき、安定して事業を継続できる経営基盤があるか。
- ⑩ 労務・法務・個人情報保護に関する取り組み方
- ア 労務・法務体制が整備されているか。
- イ 個人情報の管理体制が整備されているか。
- ⑪ 人材育成に関する取り組み方
- ア 人材育成、能力向上、意識啓発等のため、どのような研修等を実施するのか。
- ⑫ 災害、緊急時等危機管理に関する取り組み方
- ア 地震、停電、断水、濁水等発生時に、どのような危機管理対応を実施するのか。
- イ 緊急時の応援体制が整備されているか。
- ⑬ 地域貢献に関する取り組み方
- ア 地元雇用について、どのような方法で取り組むのか。
- イ 生活異変者（見守り活動）の通報について、どのような方法で取り組むのか。
- ウ 各種行事への参加等、地域貢献にどのように取り組むのか。
- ⑭ 空き家に関する取り組み方
- ア 近年問題となっている空き家について、どのような対策を講じるのか。
- ⑮ 先進的な業務改善提案
- ア 水準書に記載のない項目について、何を、どのように実施するのか。
- ⑯ 環境への配慮
- ア 環境に配慮するため、何を、どのように取り組むのか。
- ⑰ 見積金額に係る評価
- ア 見積金額については、次式により得点を計算する。
- 評価点＝最低提案見積額／提案見積額×配点（10 点）